

# 学校法人内田学園だより

～第六号～

平成30年4月19日  
発行人 内田学園  
内田文江  
編集 編集委員会  
発行所 厚木市七沢  
433-1  
電話 046-270-6123



## 『七沢希望の丘の 「学校開き」から』

学校法人内田学園 理事長  
(兼) 七沢希望の丘初等学校長 小島富司

若草萌え立つ季節となりましたが、皆さま方にはご清祥にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。日頃から本学園の教育活動に際しましては、ご支援ご協力を賜り誠にありがとうございます。心から感謝申し上げます。さて、この度の学園内の人事異動により、前任校長の島根照夫先生から初等学校長職を引き継ぐこととなりました。微力ではございますが、子どもたちにとっては楽しい学校づくりを、保護者や地域の皆さま方にとっては信頼される学校づくりを、そして、教職員一人ひとりが教育活動に情熱をもって取り組めるような学校運営に取り組んで参りたいと思います。よろしくご支援方お願い申し上げます。

ところで、学校における一年の始まりは4月の「入学式」、「始業式」と「離着任式」と続きましたが、これらはすべて「儀式的行事」として教育活動の中に意義付けられており、その始まりとしてこの時期は、正に「学校開き」と言うに相応しい表現であるかと思えます。本初等学校では新一年生9名と四年生1名の新たな着任者を迎え入れ、清新な気分と雰囲気の中で、友だちとともに進級を祝い、子どもたち自らの一学期の目標を発表しながら、皆力を合わせて頑張ろうと誓い合った出発式でもありました。子どもたちにとって、これから始まる学校生活に有意義な変化や折り目を付けながら、おごそかに清新な気持ちで新しい生活の展開へ向けての動機付けの場となりました。

そして最後に、入学式の一場面をご紹介します。

ご入学おめでとうございます。私たちは皆様のご入学を、首を長くして待っていました。～中略～ 私からささやかなプレゼントを用意しましたので、こちらをご覧ください。（紙芝居絵数枚を取り出し、新一年生の前に進み出る。「□初等学校の正門に至る長い急坂を上る三人の新一年生の絵」）これから毎日この急坂を上るのかい？いやだなあ！丘の上にある学校だから仕方がないんだよ。それに良いことがいっぱいあるんだよ、と僕の兄ちゃんが言っているんだ。ほらっ、もうすぐびっくりするよ。「□正門前に聳え立つ春の大山の絵」どうだいきれいだろう！5・6年生になったらあのとっぺんまで登るんだって。すごいなあ！さあ、校庭まで早く行こう。「□校庭の南端から湘南の海を遠望した絵」わあー、あんな遠くに海が見えるぞ。こんな近くに山を見て、湘南の海まで眺められて最高だね。これこそ学校自慢の一つだね。さあ、教室へ行こう。優しい先生とお兄さんお姉さんと会えるかな？おしまい！と。

ご入学おめでとうございます。

## 目次

理事長挨拶 1  
『七沢希望の丘の  
「学校開き」から』

幼初連携 2～3  
前校長挨拶『私学のあり方』  
園長挨拶 『蕾』  
芸術祭

七沢幼稚園 4  
『卒業式』  
『入園式』

七沢希望の丘初等学校 5  
『お別れ遠足』  
『卒業証書授与式』  
『入学式』  
『離任式』

法人本部 6  
『離着任等人事のお知らせ』  
『平成30年度の内田学園  
の体制について』  
『創立40周年記念誌  
タイトル募集のお知らせ』  
『ご寄付の報告』



紙芝居見せ語り

## 『私学のあり方』

七沢希望の丘初等学校  
前校長 島根 照夫



今、世の中で求められている力の一つが問題解決能力をつけることです。その最先端に取り組める事を私学には望まれています。時代の風を読み違えたら学校は消えます。子どもには、学校は失敗するところであり、成長の実感が出来るところと話しています。教えるべき事(基礎基本)は教えます。教えすぎとは違うのです。子どもの可能性を引き出すにはノウハウを教師が持たなければなりません。先生にはドラえもんポケットを持つように話しています。自由な発想で自由に学ぶことをねらいとしています。規律のない学校は危険です。生きる力とは、理性的、知性的に生きることなのです。目先の感情で動いてはダメなのです。一人の人間であり、我の世界であり、今日一日、何でときどき、何でわくわく出来るだろうと自問できるようにしたいのです。生きている意味は何か。このことを子どもの時から論じたいものです。

教育は一人ひとりのものであり、一人ひとりの子どものためのものです。私学は建学の精神を吟味し精査する必要があります。学びとは知ることであり、自分の考えで創造(クリエイティブに創り出す)することです。この学校で学んでよかったと思わせるのです。それには、一人ひとりに寄り添った声かけが必要です。本質は何かと常に自問するのです。公立でやっていることは当たり前、それを超えて新しい方法できちんと子どもを育てる。公立を超えた努力が必要でしょう。そして建学の精神を深めるのです。まずは教師の質を高める事が大切です。金を払っても学ばせたいと思わせることです。

アクティブラーニングは型ではありません。集団で課題解決することです。アクティブラーニングの視点に立って、習得し、活用し、探求することです。大切なことは、自分のこととして捉えることなのです。私学の中には、ローカルなところに存在する学校があります。真にローカルな物がインターナショナルになり得ることがあります。徹底的にローカルにこだわる。ローカルと言えは言うほど不思議に、知名度が上がるのです。よく言われることですが、変えるべきものを変える勇気、変えてはならないものを変えない包容力。これを見極めるのが英知です。私学の存在理由を発信し、賛同者を増やす。賛同者を増やすためには、学校は教職員の学びの場であり、成長の場であることを意識し、教員は生き生きとしている必要があります。教員は知性と感覚のバランスが必要です。感性を伴わない知性は危険です。知的な態度・行動として、次のようなことを身に付けるように意識したいですね。自分と異なる意見に対して尊重する。自分の知らないことに対して真摯に学ぶ姿勢。人に物を教えるときの態度は詳しく教える。知識を得ようとするときは、損得抜きで対応する。人を批判するときは相手をおとしめるような態度はしない。国民の持つ多様なニーズに応じられる懐の深さなどです。何も発信しない私学はあり得ないのです。建学の精神を基礎としながら時代に合った理念も必要でしょう。私学には、先進性があります。教職員にとっても学びの場でありたいものです。そして「世に問う」と言う姿勢を常に持ち続けることです。

最後になりましたが、5年間という短い期間ではございましたが中身の濃い本当にすばらしい教育環境でした。子どもたちの思い出作りに共に楽しむことが出来ました。先生たちの前向きな姿勢がすばらしかった。保護者の皆さんに支えられました。本当に感謝の5年間でした。これからの七沢希望の丘初等学校のますますの発展をお祈りしています。

## ♪ 芸術祭

2月17日(土)

初等学校に於いて「七沢森の芸術祭」が開催されました。1階教室は児童の展示、2階教室は園児の展示がされ、ホールでは園児や児童たちの舞台発表があり、有意義な時を過ごすことができました。

当日の様子をご紹介します。



# 『蕾』

七沢幼稚園  
園長 仲 早百合



満開の花々が咲き誇る中で、無事に新年度を迎えることが出来ました。

七沢は、いろいろな花や木々などの美しい自然に囲まれた素晴らしい土地です。そして、日々私達はその自然から夢や、希望を届けて貰ってます。

七沢幼稚園にも、開園以来ずっと大地に根を張り私達を見守ってくれる、沢山の桜の木があります。

今年は、2月頃まで気温が低く北風にさらされたつぼみですが、気温が低いほど綺麗な花を咲かすと言われて

います。

その厳しい寒さに耐えている間、自分をより美しく見せる力を蓄えているのでしょう。

子ども達にとっても、同じですね。すぐに出来てしまう子、何回、何回も繰り返して、やっと出来る子、大変な思い

をしながら努力をし、じっと耐えている子... 皆、それぞれ大きな可能性を内に秘めています。

七沢幼稚園の子ども達は、幼稚園での生活の中でたくさんの経験を積み重ね就学前にはしっかりと、心に大きなつぼみを持って卒園していきます。その為に、保育者は子どもの心をしっかりと認め、受け止めながら見守って

いかなければなりません。

今年一年、ご家族との連携を取りながら、保育者も子ども達と一緒に多くのいろいろな事に挑戦し、楽しく達成し大きな花を咲かせたいと思います。ご理解、ご協力を宜しくお願い致します。



芸術祭では  
みんなの力を合わせ  
すまきな思い出が  
出来ました。





# 七沢幼稚園

## 『卒業式』



～卒業生の皆様へ～  
 七沢幼稚園で過ごしたこと  
 体験し大きくなった青組さん、  
 皆に祝福され、うれしかったね。  
 小学校に行っても、頑張っ  
 ても、今までありがとう。  
 いつでも遊びにきまね。

平成30年度入園式が4月10日  
 火曜日に行われました。青組のお兄さん、  
 お姉さんと手をつないで入場です。  
 「きんちょうしなくマだいじょうぶだよ」  
 「あんしんしまね」青組のお兄さん、  
 お姉さんたちがやさしく言葉がけをしている  
 姿がほほえましかったです。



## 『入園式』



ピカピカのバッヂをつけてもらい  
 お椅子に座っている姿は、  
 もう七沢幼稚園の仲間入りですわ。  
 学園長先生からもいろいろお話を  
 きいたね・・・  
 明日から元気に幼稚園へきまいっぱい  
 遊ぼうね。  
 先生たちも楽しみにしているよ。

# 七沢希望の丘初等学校



## 《お別れ遠足》

金曜日の完全下校後を5, 6年生が翌日の大山登山に備えて生活を共にする。夕飯のハヤシライスとサラダ作り、お風呂は七沢荘の温泉。夜は多目でのレク。星が静かに皆を見守っていました。



夜のレクリエーションタイム



早朝6時  
出発!!



あっ山が光った!  
山頂と光の交信

## 《卒業証書授与式》

3月17日(土) 第6回卒業証書授与式が執り行われ、9名の児童が希望を胸に巣立っていきました。



在校生からメダルを贈られ、皆への感謝のことばと自作の曲「つかめ」を担当の伴奏のもと歌い、卒業の思いを伝えました。



証書授与



学園長式辞

## 《入学式》

4月7日(土) 第10回入学式が行われ9名の児童が希望の丘へ入学しました。



在校生からの  
歓迎の言葉



名札授与



小島校長先生より  
歓迎の紙芝居  
「1年生ものがたり」

## 《離任式》



『島根先生、5年間  
ありがとうございました。』



# 法人本部

## ～離着任等人事のお知らせ～

校長：島根照夫、教諭：津田優子、武井侑子、井手隆太 (H30.3.31 退職)  
 教諭：小山幸博、運転手：神保敏晴、非常勤講師：吉橋まり (H30.4.1 着任)

## ～平成30年度内田学園の体制について～

### 【内田学園】

理事長 小島富司、学園長 内田文江、事務長 及川朋子

### 【七沢幼稚園】

園長 仲 早百合 (青組担任)  
 主任教諭 君田 直宏 (ピンク組担任)  
 教諭 西森 智美 (黄色組担任)  
 教諭 大島 和子 (赤組担任・母との庭)  
 運転手 泉 博  
 事務主事 藤代真理子  
 非常勤講師 中村つや子 (わらべうた)  
 非常勤講師 井川美由紀 (リトミック)  
 非常勤講師 鶴岡 恵 (コーラス 幼初兼務)  
 非常勤講師 David (英語 幼初兼務)  
 非常勤講師 吉橋 まり (造形)  
 非常勤講師 大野佐千代 (茶道 兼務)  
 栄養士 大野佐千代 (兼務)  
 調理員 三竹 瑛司  
 保育士 大谷 修  
 運転手 神保 敏晴

### 【七沢希望の丘初等学校】

校長 小島 富司  
 教頭 大島三奈子  
 主幹教諭 牛島 晋治 (第2学年担任)  
 教務主任 尾形 理 (第3学年担任)  
 教諭 小田島歩生 (第1学年担任)  
 教諭 小山 幸博 (第4学年担任)  
 教諭 関口穰太郎 (第5学年担任)  
 教諭 池上 義之 (第6学年担任)  
 養護教諭 金刺 李歩  
 技能員 西山えりか  
 非常勤講師 霜島 廣雄 (理科)  
 非常勤講師 鶴岡 恵 (音楽)  
 非常勤講師 David (外国語)  
 非常勤講師 El Bora i (外国語)  
 非常勤講師 Luna (外国語)  
 非常勤講師 西山えりか (外国語 兼務)  
 栄養士 大野佐千代  
 用務員 大谷 修  
 調理員 三竹 瑛司 (兼務)  
 運転手 泉 博 (兼務)

『1年間宜しくお願ひします。』  
 学校法人内田学園教職員一同

## ～創立40周年記念誌

### タイトル募集のお知らせ～

ご寄付をいただいた方に贈呈する内田学園創立40周年記念誌のタイトルを募集いたします。

募集期間：平成30年5月1日～  
 5月31日  
 応募方法：内田学園40thサイト  
 (uchida-school-40th.net) より  
 お申し込みください。たくさんのご応募お待ちしております。

学校法人内田学園創立40周年記念  
 事業実行委員 記念誌編集委員会

## ～ご寄付の報告～

社会福祉法人清流会 (2回) 計20,000円  
 ☆いただきましたご寄付は内田学園の教育に関わる事業に  
 大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



ドローンより校舎を望む  
 撮影 牛島 晋治

七沢幼稚園 住所：厚木市七沢 590 TEL046-247-3175 FAX046-247-3139  
 七沢希望の丘初等学校 住所：厚木市七沢 433-1 TEL046-270-6123 FAX046-270-6122